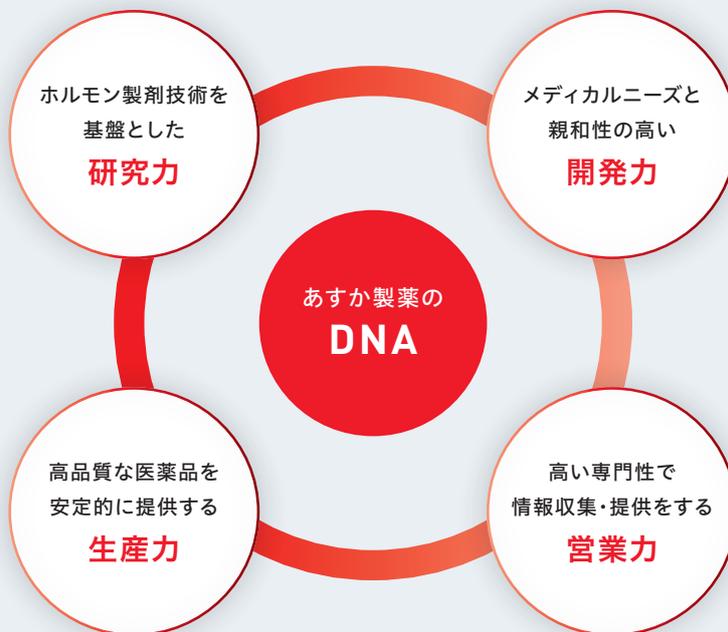


あすか製薬の強み

あすか製薬に脈々と受け継がれているDNAは、「ホルモン製剤のパイオニアとして、そこにメディカルニーズがある限り、価値ある医薬品を届けるという使命感」です。過去、現在、そして未来にも、このDNAが当社のバリューチェーン（研究・開発・生産・営業・信頼性保証など）を担う従業員一人ひとりに根づき、メディカルニーズに対する挑戦へと突き動かします。この強みを活かし、あすか製薬らしい価値創造を目指します。



重点3領域

あすか製薬は1920年の創立以来、ホルモン製剤の研究・製造・販売を続け、その技術やプレゼンスを築き上げてきました。その結果として、「内科」「産婦人科」「泌尿器科」という3つの事業領域に特化した、より付加価値の高い製品をお届けするためスペシャリティファーマとしてのプレゼンスを高めています。重点3領域のなかでも、産婦人科領域におけるさらなる専門性の発揮や製品ラインアップの拡充により、いきいきとした女性の活躍をサポートします。

産婦人科領域

経口避妊剤、緊急避妊剤や月経にかかわる薬剤をはじめ、妊娠を希望される方のための排卵誘発剤などの不妊治療薬、子宮筋腫や子宮内膜症の治療薬、妊娠・出産時の管理のための薬剤など、女性のQOLの向上に貢献しています。

内科領域

肝性脳症治療薬をはじめ、胃・腸などの諸疾病、高脂血症、高血圧症の治療薬、甲状腺疾患などの内分泌異常にかかわる治療薬を有しています。特に甲状腺領域では、国内で大きなシェア（98%）を占めています。

泌尿器科領域

高齢化や食生活の欧米化の影響などにより、年々増加傾向にある前立腺癌の治療薬をはじめ、排尿障害や尿失禁にかかわる薬剤、男性ホルモンの低下による諸症状に対する治療薬など、当社伝統のホルモン製剤で培った技術が活かされています。